

募集作品

【テーマ .. 白衣】

〈特選5句〉

短夜や白衣つるして取る仮眠

足立六歩（米子）

往診の汗に白衣の張り付きぬ

安井斉希子（米子）

白衣脱ぎあじさいへ吐く今日のこと

雄雄（鳥取）

街の灯の消えて白衣や星涼し

圓山 淳子（琴浦）

往診の白衣のはらむ青田風

西村ゆうき（鳥取）

〈入選10句〉

おはようと涼しき声の白衣かな

岩水節子（米子）

颯爽と行き交う白衣風青し

高力由美子

風や白衣を羽織る午前二時

都田玲子（米子）

南十字星荷に折りたたむ白衣かな

河本貴（米子）

研修の白衣に風の薫りけり

大下秀子（米子）

定年の白衣脱ぎ置く二月尽

定久静子（鳥取）

カルテ打つ白衣の背筋薄暑光

石谷かずよ（鳥取）

緑蔭のベンチ白衣の昼休み

安達佳恵（米子）

看護師になりし娘や初つばめ

安部あみ（米子）

町医者 of 白衣の友も暑気払ひ

坂岡 敏延（鳥取）

〈佳作〉

梅雨空に老いた白衣の重い腰

謎の円盤（米子）

青梅雨や小窓に技師の白衣の手

大山草海（鳥取）

白衣手に急ぐ回診蟬時雨

藤原博志（鳥取）

緑風や白衣の研修医闊歩

阿部春代

梅雨寒や白衣の口調淡々と

平山淑子（米子）

五月晴れ白衣に隠るる弱き自分

まいのすけ（米子）

白南風や卒寿超えたる白衣の師

松島美佐子（鳥取）

白衣見てしがみつく子や合歓の花

田部慈子（米子）

汗ばむ手嫌々掴む子白衣濡れ

永見輝生（安来）

診てもらふ白衣の友と夜ビール

朗然（米子）

白球追い甲子園から白衣に夢

国森 千春（琴浦）

心強き白衣の天使白夜なり

岡みずき（鳥取）

万緑や白衣は命つなぎ止め

澤田囿子（米子）

へりのもと白衣に映る花火かな

高橋真衣（米子）

【テーマ】 .. 待合室

〈特選5句〉 朝暑き救急待合室無音

大山 草海（鳥取）

冷房の待合室にパジャマの子

近藤 静子（米子）

涼しさや待合室の隠岐なまり

中島よね子（米子）

待合室夏の大山迫る窓

岩水 節子（米子）

待つことにあしたのありて雲暑し

やすだ しげこ（米子）

〈入選10句〉 待合は村のオアシス青田波

西村 五子（米子）

六月来ベッドも待合室も無きガザに

雄雄（鳥取）

芭蕉読む待合室や小夜時雨

長田 遼平

待合はかかりつけ医の薔薇の庭

門脇邦子（米子）

立春や待合室の花ゆれて

市場 和子（境港）

ホスピスの待合室の窓若葉

石山 ヨシエ

待合室涼し文庫本ひらく

光田 すみ子（鳥取）

問診時肩越しに見える梅雨の紫陽花

千歳 友弥（米子）

半夏生身の上話きいてゐる

房安 栄子（鳥取）

夏風邪や待合室の人の数

福田 代志子

〈佳作〉 ドア二枚ぬけて待合室涼し

野坂 真里（米子）

涼やかや待合室の笹飾り

安井斉希子（米子）

田植終へ知人多かり待合室

小谷 里子（南部）

待合室静かに混みて蟬涼し

大下 秀子（米子）

待合室に押し殺す咳の声

すずき みのる

待合室の混雑外は薄暑光

なお（鳥取）

待合室春眠起こすは赤子の声

事務鳥（境港）

夏風邪や待合室で邂逅す

前田一朗（米子）

虹立ちて空気染まるや待合室

藤原博志（鳥取）

冬来たり井戸端会議待合で

ほととぎす（米子）

共に病む友に出会って勇氣湧く

ひさ（米子）

四季の花待合室の顔となり

小橋 房子（鳥取）

みなここにあり待合室の春の昼

鈴木 昌子

|||||ご投句、ありがとうございました！|||||